

行雲流水

No. 4 4 令和3年5月27日発行

「学びの山」を登る

校長 寒河江 正人

生徒諸君、「1学期中間テスト」おつかれさま。

3年生は「全国学力・学習状況調査」、2年生は「山形県学力等調査」も実施しました。きっと、みんな「一人ひとりの日々のがんばりに応じた結果」が返ってくることでしょう。

さて、子どもも大人も、試験を受ければ、「その結果」が気になるのは、誰しも同じこと。「いい結果」を手にした時の「満足感・達成感」といった「喜び」は欲しいものです。

では、今回の「中間テスト」に向かう「プロセス（過程）」は、どうだったでしょう。4月6日の始業式、4月7日の入学式、「新たな決意」でスタートした1学期。「中間テスト」までの**50日間**。あなたは「どんな過ごし方」をしましたか？

「中間テスト」を「山の頂^{やま いただき}」にたとえれば、みなさんは**50日間**をかけて登りました。

「登り方（学び方）」は、一人ひとりみんな違います。

「ぐんぐん速く登れる人」もいれば、「ゆっくりじっくり時間をかけて登る人」もいます。

もしかしたら、「登り方」がわからなくて、「道に迷った人」もいたのかもしれませんが。「登り方がわからないよぉー。」って、誰にも伝えられないまま過ごした人もいたのかも。

「学ぶというプロセス（過程）」は、「速さを競う争い」ではありません。

「自分に合った学び方」で「少しずつ、確かに、前に進むこと」こそが大切なのです。

「山の頂」は、動きません。逃げません。

あなたが、「登ってみよう（学んでみよう）」と思えば、必ず登れます。

あなたが、「あなたに合った登り方（学び方）」を見つければ、必ず登れます。

あなたが、「登ろう（学ぼう）とする一歩」をあきらめなければ、必ず登れます。

次の「1学期期末テスト」までは、これから「**41日間**」。

さあ、あなたは「どんな登り方（学び方）」でチャレンジしますか？

あなたの身近にいる「仲間」や「先生」に「登り方（学び方）」を相談してみましょう。
1年生だけでなく、2年生・3年生だって、今からでも決して遅くはありません。
でも、すぐには「登り方（学び方）」は見つかりません。
なぜなら、相談した相手の「登り方（学び方）」と「あなたに合った登り方（学び方）」は
きっと違うからです。でも、「何らかのヒント」は、見つかるかもしれません。
その「ヒント」を「種」にして、「あなたにあった登り方（学び方）」を試すのです。